

19 地域医療

横浜市では、救急医療を始め、市民の方々が必要とする医療を、必要な時に、身近なところで受けられる体制を整えるため、地域中核病院の整備など、地域医療体制の確保・充実を進めています。

1 救急医療

横浜市の救急医療体制については、救急患者が発生した場合の受入体制を(1)注射や簡単な投薬、応急処置などで帰宅することができる患者に対する初期救急医療体制、(2)入院加療を要する中等症、重症の救急患者や初期救急医療施設からの転送患者に対する二次救急医療体制、(3)初期や二次救急医療施設からの転送患者と重篤救急患者を受け入れる三次救急医療体制の三段階に分け、体系的・機能的に整備を進めています。

(1) 初期救急医療

ア 横浜市夜間急病センター（横浜市救急医療センター 中区桜木町 1-1）

夜間における初期救急医療に対応するため、内科・小児科は毎夜間午後6時から深夜0時まで、眼科・耳鼻いんこう科は毎夜間午後8時から深夜0時まで診療を行っています。なお、深夜0時以降の内科・小児科は、小児救急拠点病院で対応しています。

横浜市夜間急病センターは、平成18年7月1日から、指定管理者制度により管理運営されています。

横浜市夜間急病センター診療科目別患者数の推移 (単位：人)

年 度	総 数	内 科	小 児 科	眼 科	耳鼻いんこう科
平成19年度	33,988	10,265	10,426	4,894	8,403
平成20年度	33,314	10,347	10,240	4,774	7,953
平成21年度	41,006	13,999	15,059	4,235	7,713

イ 横浜市北部夜間急病センター（横浜市都筑区牛久保西 1-23-4）

北部方面の夜間の初期救急医療に対応するため、内科・小児科の診療を毎夜間午後8時から深夜0時まで行っています。

横浜市北部夜間急病センター診療科目別患者数 (単位：人)

年 度	総 数	内 科	小 児 科	そ の 他
平成19年度	12,085	3,035	7,727	1,323
平成20年度	12,038	3,255	7,494	1,289
平成21年度	17,814	5,137	11,452	1,225

ウ 横浜市南西部夜間急病センター（横浜市泉区中田北 1-9-8）

南西部方面の夜間の初期救急医療に対応するため、内科・小児科の診療を毎夜間午後8時から深夜0時まで行っています。

横浜市南西部夜間急病センター診療科目別患者数 (単位：人)

年 度	総 数	内 科	小 児 科	そ の 他
平成19年度	9,139	2,571	5,471	1,097
平成20年度	8,943	2,688	5,224	1,031
平成21年度	13,286	4,367	7,898	1,021

エ 休日急患診療所

休日昼間（年末年始は12月30日から1月3日）の初期救急医療に対応するため、各区に設置され、主として内科・小児科を概ね午前10時から午後4時まで診療を行っています。金沢区と戸塚区の休日急患診療所では歯科の診療も行っています。

休日急患診療所診療科目別患者数の推移（各区患者数の合計）

（単位：人）

年 度	総 数	内 科	小 児 科	歯 科	そ の 他
平成 19 年度	57,548	21,375	28,020	736	7,417
平成 20 年度	56,581	2,1456	27,104	738	7,283
平成 21 年度	79,526	29,932	42,120	808	6,666

※歯科は金沢、戸塚区の2か所

(2) 二次救急医療

ア 病院群輪番制

二次救急医療に対応するため内科・小児科・外科系と急性心疾患の患者について、病院群輪番制により、毎夜間午後6時から翌朝7時までと休日昼間（年末年始は12月30日から1月3日）午前10時から午後5時まで診療を行っています。

内科・外科系について、市内3ブロックに各1病院を配置し、小児科については、市全域で2病院で、急性心疾患については、全市域を1病院で対応しています。

病院群輪番制ブロック別行政区一覧

ブロック	行 政 区
北 部	鶴見、神奈川、港北、緑、青葉、都筑
西 部	西、保土ヶ谷、旭、戸塚、泉、瀬谷
南 部	中、南、港南、磯子、金沢、栄

夜間・病院群輪番制診療科目別患者数の推移

（単位：人）

年 度	総数	内科	小児科	外科	急 性 心疾患	その他	入院患者（再掲）					
							総数	内科	小児科	外科	心疾患	その他
平成 19 年度	30,383	11,693	10,174	6,641	401	1,474	4,490	2,210	805	1,027	171	277
平成 20 年度	27,499	11,082	8,231	6,375	407	1,404	4,182	2,073	645	1,035	182	229
平成 21 年度	28,612	11,568	9,852	5,547	381	1,264	4,309	2,042	879	1,001	157	230

休日・病院群輪番制診療科目別患者数の推移

（単位：人）

年 度	総数	内科	小児科	外科	急 性 心疾患	その他	入院患者再掲					
							総数	内科	小児科	外科	心疾患	その他
平成 19 年度	8,249	2,687	3,055	2,075	61	371	1,023	477	230	253	20	43
平成 20 年度	5,959	2,140	1,695	1,770	72	282	797	396	125	197	31	48
平成 21 年度	6,496	2,381	2,043	1,634	71	367	866	398	146	215	38	69

イ 小児救急拠点病院事業

市内7か所の小児救急拠点病院で24時間救急医療体制を整備することにより、小児科専門医による休日夜間の小児科医の当直体制を確保し（24時間365日小児救急体制）、小児科二次救急医療の充実を図っています。なお、小児救急拠点病院では、深夜0時以降の内科・小児科の初期救急患者の診療も行っています。

小児救急拠点病院患者数の推移（単位：人）

年 度	平成 19 年度	平成 20 年度	平成 21 年度
患者数	38,071	36,400	40,074

ウ 周産期救急連携病院事業

産婦人科診療所等との連携を強化し、妊産婦や新生児の救急患者の円滑な受け入れを図る周産期救急連携病院の機能確保を図っています

(3) 三次救急医療

ア 救命救急センター

三次救急医療に対応するため、救命救急センターが昭和大学藤が丘病院、済生会横浜市東部病院、聖マリアンナ医科大学横浜市西部病院、横浜市立大学附属市民総合医療センター（市大センター病院）国立病院機構横浜医療センター、市立みなと赤十字病院に整備されています。

イ 周産期センター

ハイリスクの妊産婦、胎児、新生児の救急医療に対応するため、周産期センターが神奈川県立こども医療センター、横浜市立大学附属市民総合医療センター（市大センター病院）、聖マリアンナ医科大学横浜市西部病院に整備されています。

(4) 救急告示医療機関等

救急患者を受け入れる医療施設として「救急病院等を定める省令」に基づいて県知事から告示された医療機関は、市内に救急病院が59か所、救急診療所が2か所あります。（平成22年1月1日現在）

また、救急患者の医療確保のため、積極的に救急医療に協力した医療機関に対し、助成金の支給を行い救急医療機関の確保に努めています。

(5) 横浜市救急医療情報センター（横浜市救急医療センター内）

平成18年7月1日からは、指定管理者制度により管理運営されています。

ア 医療機関案内

横浜市救急医療情報センターでは、市内の医療機関の情報を収集し、市民や医療機関などからの問い合わせに対して、24時間365日体制で情報提供を行っています。

横浜市救急医療情報センター問い合わせ先別取扱件数の推移（単位：件）

年 度	総数	医療機関				消防	県中央情報センター	市民	その他
		総数	病院	診療所	休日急患診療所				
平成19年度	187,785	8,472	7,798	552	122	388	18	176,884	2,023
平成20年度	178,772	8,056	7,439	521	96	444	18	168,292	1,962
平成21年度	223,179	7,779	7,198	458	123	452	13	212,818	2,117

イ 小児救急電話相談

平成18年7月1日から、小児の急病やケガなどの際に、看護師が応急処置や対応方法を助言する電話相談を平日は18:00～24:00、土曜日は13:00～24:00、日・祝・年末年始（12月29日～1月3日）は9:00～24:00の間、実施しています。（平成22年4月1日現在）

なお平成22年10月より、相談時間の延長を実施する予定です。

小児救急電話相談の年齢別件数（単位：件）

年 度	総数	0～1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7～14歳	その他
平成19年度	29,129	8,522	7,611	3,716	2,614	2,035	1,486	2,652	493
平成20年度	32,882	8,716	8,127	4,613	3,238	2,471	1,730	3,562	425
平成21年度	42,753	9,965	9,507	5,694	4,685	3,331	2,487	6,494	590

(6) 横浜救急医療チーム（YMAT）

YMATは、横浜市内で発生したげき崩れや列車脱線事故などの災害で、複数の重傷者や多数の負傷者が発生した場合などに、消防との連携により迅速に災害現場に出動し、救命のための的確な医療活動を展開します。平成20年3月、救命救急センターを有する市内5病院においてYMATを編成しました。

出動件数は、平成20年度3件、平成21年度25件となっています。

(7) 地域医療救護拠点

地域医療救護拠点は、大震災発生時の臨時救護所として平成7年度から整備が開始され、中学校区ごとに1か所、市内146か所に整備されています。(平成22年4月1日現在)

各拠点に、創傷、打撲、骨折、熱傷等に対応できる医薬品及び医療資機材を備蓄し、大震災発生時には、医師・薬剤師・看護師等による医療救護隊が編成され、被災者の応急医療を行います。

平成21年度は、外傷に対応した医薬品及び医療資機材に見直しました。

2 地域医療対策

喫緊の課題である産科医療体制の確保対策、保健医療人材の養成・確保対策、在宅療養連携の推進などに取り組んでいます。

また、地域医療の基盤整備のため、高度で専門的な医療サービスを提供する地域中核病院の整備などを行っています。

(1) 緊急産科医療対策

医療機関相互の役割分担や助産師の活躍を促すことで、安心して出産できる環境の確保を図っています。

具体的には、妊産婦健診は診療所で行い、出産は病院で行うセミオープンシステムや院内助産の取り組みを推進するとともに、職場復帰や技術向上のための助産師研修の実施、助産所等の開設支援を行いました。

平成21年度は、6病院がセミオープンシステムに取り組み、助産所研修では、職場復帰研修に延べ38人、勤務助産師研修に延べ24人が参加。さらには市内1ヶ所で助産所が新たに開業しています。

(2) 緊急周産期医療対策

救急対応が必要となった妊産婦への周産期救急医療体制を充実させるため、NICU(新生児集中治療室)及びその後方病床であるGCU(新生児治療室)の整備や運営を行う医療施設に対して支援を行いました。

平成21年度は、市内2病院においてNICU(3床)及びGCU(2床)の整備が実施されました。

(3) 看護人材確保対策

急速な少子・高齢化の進展や医療の高度化により、保健医療業務に携わる看護人材の養成・確保とその資質の向上が必要になっています。

そのため、横浜市医師会及び横浜市病院協会が設置する看護専門学校の運営や、市内医療機関及び神奈川県看護協会が行う再就職促進の研修等に対し助成を行っています。

また、市内医療機関合同の就職説明会及び5月12日の「看護の日・看護週間」での記念行事等を行っています。

(4) 地域中核病院

地域中核病院は、二次から三次医療に対処しうる医療提供体制整備の一環として

- ・ がん、急性心疾患、脳血管疾患等、重篤患者に対する高度な医療の提供
- ・ 24時間365日体制での救急患者の受入れ
- ・ 市内に不足する政策的医療の提供

等を目的に、本市が事業主体を誘致することにより方面別に整備を進めています。

これまでに、南部病院、西部病院、横浜労災病院、北部病院、東部病院の病院を整備しました。

また、平成22年4月1日から新たに独立行政法人国立病院機構横浜医療センターが本市で6番目の地域中核病院となる南西部地域中核病院として位置付けられます。

ア 恩賜財団済生会横浜市南部病院

南部病院は、本市と恩賜財団済生会支部神奈川県済生会が共同で建設し整備したものです。本市の南部地域における地域中核病院として、地域医療機関との密接な連携のもとに診療を行い、地域の医療水準の向上に寄与しています。

- ・ 運営主体 恩賜財団済生会支部神奈川県済生会
- ・ 所在地 港南区港南台3-2-10

- ・開設年月 昭和 58 年 6 月
- ・病 床 数 500 床
- ・診療科目 23 科
- ・特 色 24 時間 365 日救急、災害医療拠点病院、地域医療支援病院

イ 聖マリアンナ医科大学横浜市西部病院

西部病院は、本市が聖マリアンナ医科大学を誘致し整備したものです。本市の西部地域における地域中核病院として、地域医療機関との密接な連携のもとに診療を行い、地域の医療水準の向上に寄与しています。

- ・運営主体 学校法人聖マリアンナ医科大学
- ・所 在 地 旭区矢指町 1197-1
- ・開設年月 昭和 62 年 5 月
- ・病 床 数 518 床
- ・診療科目 26 科
- ・特 色 救命救急センター、災害医療拠点病院、周産期センター

ウ 横浜市北東部中核施設横浜労災病院

横浜労災病院は、本市が厚生労働省の所管する特殊法人である労働福祉事業団（平成 16 年 4 月から独立行政法人労働者健康福祉機構）を誘致し整備したものです。本市の北東部地域における地域中核病院として、地域医療機関との連携のもとに診療を行い、地域の医療水準の向上に寄与しています。

- ・運営主体 独立行政法人労働者健康福祉機構
- ・所 在 地 港北区小机町 3211
- ・開設年月 平成 3 年 6 月
- ・病 床 数 650 床
- ・診療科目 33 科
- ・特 色 24 時間 365 日救急、災害医療拠点病院、地域医療支援病院、地域がん診療連携拠点病院、労災医療、勤労者医療

エ 昭和大学横浜市北部病院

北部病院は、本市が昭和大学を誘致し整備したものです。本市の北部地域における地域中核病院として、地域医療機関と密接な連携のもとに診療を行い、地域の医療水準の向上に寄与しています。

- ・運営主体 学校法人昭和大学
- ・所 在 地 都筑区茅ヶ崎中央 35-1
- ・開設年月 平成 13 年 4 月
- ・病 床 数 663 床
- ・診療科目 6 センター14 科
- ・特 色 24 時間 365 日救急、精神科救急医療、災害医療拠点病院、緩和ケア医療、老人性認知症医療

オ 済生会横浜市東部病院

東部病院は、本市が恩賜財団済生会支部神奈川県済生会を誘致し整備したものです。本市の東部地域における地域中核病院として、地域医療機関と密接な連携のもとに診療を行い、地域の医療水準の向上に寄与しています。

- ・運営主体 恩賜財団済生会支部神奈川県済生会
- ・所 在 地 鶴見区下末吉 3-6-1
- ・開設年月 平成 19 年 3 月
- ・病 床 数 554 床
- ・診療科目 19 センター
- ・特 色 救命救急センター、精神科救急医療、災害医療拠点病院、地域医療支援病院、重症心身障害児（者）施設併設

カ 独立行政法人国立病院機構 横浜医療センター

横浜医療センターは、本市が既存病院を活用し、位置づけたものです。本市の南西部地域における地域中核病院として、急性期の地域医療を基盤とした、質の高い総合的な専門医療を提供するとともに、関係医療機関と密接な連携をもつ地域完結型医療を提供しています。

- ・運営主体 独立行政法人国立病院機構
- ・所在地 戸塚区原宿 3-60-2
- ・開設年月 平成 22 年 4 月
- ・病床数 510 床
- ・診療科目 28 科
- ・特 色 救命救急センター、災害医療拠点病院、地域医療支援病院

地域中核病院の入院患者数の推移

(単位：人 (□) 内：1日平均)

年 度	南部病院	西部病院	労災病院	北部病院	東部病院
平成 19 年度	158,965 (434)	152,793 (418)	225,417 (616)	212,154 (580)	129,781 (356)
平成 20 年度	150,134 (410)	129,561 (355)	226,008 (619)	200,337 (549)	176,133 (483)
平成 21 年度	153,131 (420)	125,450 (344)	225,691 (618)	201,354 (552)	171,779 (471)

地域中核病院の外来患者数の推移

(単位：人 (□) 内：1日平均)

年 度	南部病院	西部病院	労災病院	北部病院	東部病院
平成 19 年度	354,738 (1,334)	325,115 (1,200)	445,589 (1,823)	393,458 (1,343)	149,933 (614)
平成 20 年度	339,023 (1284)	323,242 (1,197)	449,572 (1850)	388,364 (1330)	212,186 (877)
平成 21 年度	321,317 (1,213)	318,418 (1,184)	448,904 (1,855)	386,997 (1,325)	233,872 (966)